

2024年6月9日

「この花よりも」

マタイによる福音書 6:25-30

早川 真牧師

空の鳥は種も蒔かないし刈り入れもしないし、倉に納めもしない、でも、神様はちゃんと鳥の食べものを毎日用意してくださっています。たった一日しか咲かない花も、神様は素敵にまるで服を着ているように、美しく飾ってくださいます。

今日の聖書の言葉には思い悩むなとありましたがこれは「心配するな」ということです。神様が必要なものを全て用意してくださっているから心配しすぎなくていいんだよ、ということです。神様はこの地上に生きる間、私たちが困らないように必要なものすべてを用意して命と体を守ってくださいます。そしてこの地上の命が終わった後も何も心配いらぬよって言ってくださっています。

いつかは私たちも花のように枯れてしまいます。でもイエス様を信じる人には地上の命が終わった後も新しい命が与えられて、枯れてしまっても新しい体を与えられると聖書に書いてあります。イエス様は私たちのために十字架にかかって、死んで復活してくださって、私たちに新しい体と永遠の命を与えると約束してくださっています。

神様にとってイエス様はたった一人の子どもでした。大切な大切な子供でした。そのイエス様を私たちのために地上に送ってくださいました。それは私たちが神様をどれほど大切に思ったださっているか、ということを知って心配しないで生きることができるようになるためです。神様はこの美しく咲いている花よりも、私たちのことを大切に思っておられます。そのことを今日は一緒に覚えたいと思います。